

明治安田生命 夏に関するアンケート調査を実施！
夏のボーナスアップの影響！？夏休みに使うお金は「4,405円」アップ！
3年連続の増加で、調査開始以来最高の「89,296円」に！

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、お盆の帰省シーズンを前に、夏に関するアンケート調査を実施しましたのでご報告します。

○今年の夏休み（詳細は4～10ページ参照）

■夏休み、本当はもっと欲しい！？

今年の夏休みは「8.1日」となり、理想の日数との差は約4日間！（4ページ）

■夏のボーナスアップの影響！？夏休みに使うお金は「4,405円」アップ！

3年連続の増加で、調査開始以来最高の「89,296円」に！（5ページ）

■「自宅でゆっくり」が10年連続でトップ！

「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録決定も影響！？「国内旅行」も人気！（7ページ）

■心も体もリフレッシュ！「国内旅行」は「北海道」「九州・沖縄」などが人気！

「海外旅行」は「オセアニア」が人気急上昇！（8ページ）

■アグレッシブに行動する女性が増加！？

海外旅行に行く女性の「約5人に1人」が「おひとりさま」で！（10ページ）

○帰省の交通手段と費用（詳細は11～12ページ参照）

■北陸新幹線開通の影響！？

「新幹線」利用者が増加！「自動車」利用者は減少！（11ページ）

■ガソリン価格の値下がりの影響！？

帰省交通費は減少！おみやげ代は6年ぶりの増加！（12ページ）

【番外編】

○「夏」でイメージする有名人とその理由（詳細は13～14ページ参照）

■夏でイメージする男性有名人

「前田亘輝」さん（TUBE）が1位、「桑田佳祐」さん（サザンオールスターズ）が2位！
定番の2人に次いで、「松岡修造」さんがTOP3入り！（13ページ）

■夏でイメージする女性有名人

1位は元プロビーチバレー選手「浅尾美和」さん、2位は「大黒摩季」さん！
3位には「すみれ」さんがランクイン！（14ページ）

対象者の属性

1. 調査対象

20～59歳の男性・女性

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2015年7月1日(水)～7月6日(月)

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,113人

6. 回答者の内訳

(単位:人)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	計
男性	136	140	139	141	556
女性	138	140	141	138	557
計	274	280	280	279	1,113

【目次】

1. 今年の夏休み

- (1) **夏休みの日数の理想と現実** 4ページ
夏休み、本当はもっと欲しい！？
今年の夏休みは「8.1日」となり、理想の日数との差は約4日間！
- (2) **夏休みに使う金額** 5ページ
夏のボーナスアップの影響！？夏休みに使うお金は「4,405円」
アップ！3年連続の増加で、調査開始以来最高の「89,296円」に！
- (3) **夏休みの過ごし方と理由** 7ページ
「自宅でゆっくり」が10年連続でトップ！「明治日本の産業
革命遺産」の世界遺産登録決定も影響！？「国内旅行」も人気！
- (4) **旅行の行き先** 8ページ
心も体もリフレッシュ！「国内旅行」は「北海道」「九州・沖縄」
などが人気！「海外旅行」は「オセアニア」が人気急上昇！
- (5) **旅行の同伴者** 10ページ
アグレッシブに行動する女性が増加！？
海外旅行に行く女性の「約5人に1人」が「おひとりさま」で！

2. 帰省の交通手段と費用

- (1) **帰省の交通手段** 11ページ
北陸新幹線開通の影響！？
「新幹線」利用者が増加！「自動車」利用者は減少！
- (2) **帰省に使うお金** 12ページ
ガソリン価格の値下がりが影響！？
帰省交通費は減少！おみやげ代は6年ぶりの増加！

【番外編】

「夏」でイメージする有名人とその理由

- (1) **「夏」でイメージする男性有名人** 13ページ
「前田亘輝」さん（TUBE）が1位、「桑田佳祐」さん（サザン
オールスターズ）が2位！定番の2人に次いで、「松岡修造」さん
がTOP3入り！
- (2) **「夏」でイメージする女性有名人** 14ページ
1位は元プロビーチバレー選手「浅尾美和」さん、
2位は「大黒摩季」さん！3位には「すみれ」さんがランクイン！

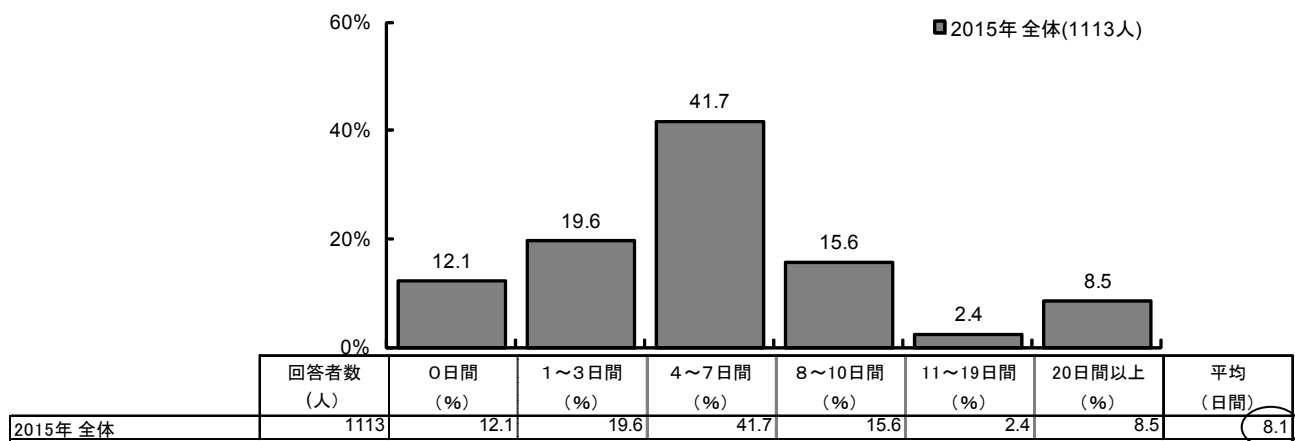
1. 今年の夏休み

(1) 夏休みの日数の理想と現実

夏休み、本当はもっと欲しい!?
今年の夏休みは「8.1日」となり、理想の日数との差は約4日間!

- 夏休みの日数について聞いてみたところ、「8.1日」となり、昨年より「1.0日」減少しました。
- また、理想の夏休みの日数について聞いてみたところ、全体平均では「12.5日」となりました。現実の日数とは「4.4日」の差があり、もう少し長い夏休みがほしいという人が多いようです。

Q. あなたの夏休みの日数は何日ですか（土日も含め連続しての日数）

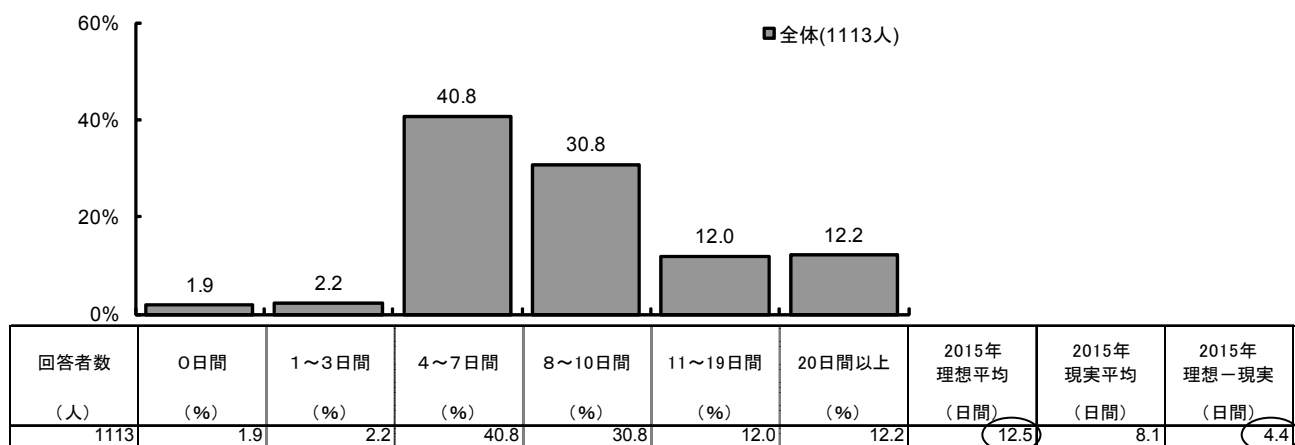


<参考> 夏休みの日数の過去の推移

	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年	2006年
平均日数(日)	8.1	9.1	8.8	9.5	9.5	8.1	7.7	6.5	7.9	6.3

1.0日減少

Q. あなたの理想とする夏休みの日数は何日ですか（土日も含め連続しての日数）



1. 今年の夏休み

(2) 夏休みに使う金額

**夏のボーナスアップの影響！？夏休みに使うお金は「4,405円」アップ！
3年連続の増加で、調査開始以来最高の「89,296円」に！**

- 夏休みに使う金額について聞いてみたところ、全体の平均は3年連続増加し、「89,296円」（4,405円増）と、調査開始以来最高となりました。
- 家族構成別では、「既婚」世帯が「102,955円」と昨年から「14,284円」増加し、調査開始以来初めて10万円を上回りました。
- 地方別では、「関東」地方が「110,363円」と昨年から「12,164円」増加し、地方別で唯一10万円を上回りました。3大都市圏の金額が比較的高い傾向が続いているものの、3大都市圏とその他の地方との差は、昨年の「30,640円」から「24,745円」と約6,000円縮まっており、地方にも景気回復の波が届きはじめているのかもしれませんが。
- 夏のボーナスについて聞いてみたところ、昨年同様「増えた」（17.0%）が「減った」（12.3%）を上回りました。昨年からのボーナスは増加基調にあり、財布のひもが段々とゆるくなってきているのでしょうか。

Q. 夏休みに使うお金はいくらですか

3年連続増加し、調査開始以来最高に！

	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年
全体	89,296	84,891	83,622	82,974	84,848	86,159	84,736	76,955
未婚計	62,735	75,836	64,339	68,583	77,223	79,163	71,594	59,601
既婚計	102,955	88,671	91,488	88,651	87,818	88,098	89,990	87,620
既婚子どもなし計	113,933	100,087	71,681	100,191	73,250	78,774	73,979	82,296
既婚子どもあり計	100,485	86,955	94,092	86,800	90,115	89,442	91,896	88,962

(円)

調査開始以来初めて10万円を上回る！

<参考> 夏休みに使う金額 (地方別)

	2015年	2014年
関東	110,363	98,199
近畿	87,000	92,511
東海	78,188	88,061
北海道	77,056	61,130
九州・沖縄	74,268	58,947
中国・四国	74,023	68,919
東北	71,517	45,102
甲信越・北陸	58,936	86,226
全国平均	89,296	84,891

(円)

地方別で唯一10万円を上回る！

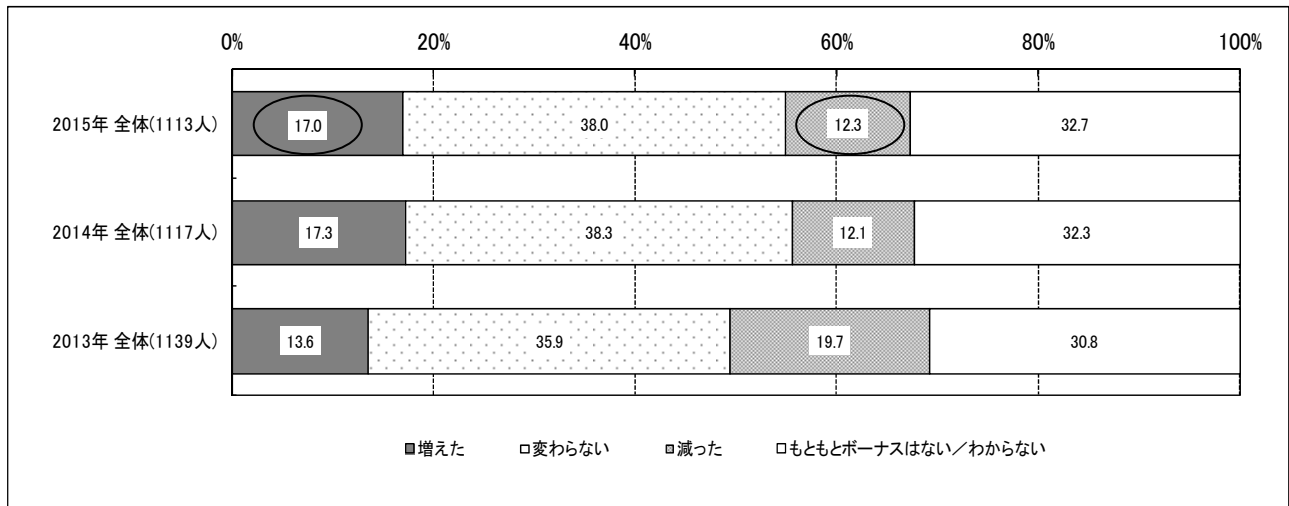
(地方比較)

	2015年	2014年
3大都市圏	96,988	94,409
その他の地方	72,243	63,769

24,745円差 30,640円差

3大都市圏（関東・近畿・東海）との差は「5,895円」縮まる！

Q. 昨年と比べて世帯の夏のボーナスは増えましたか



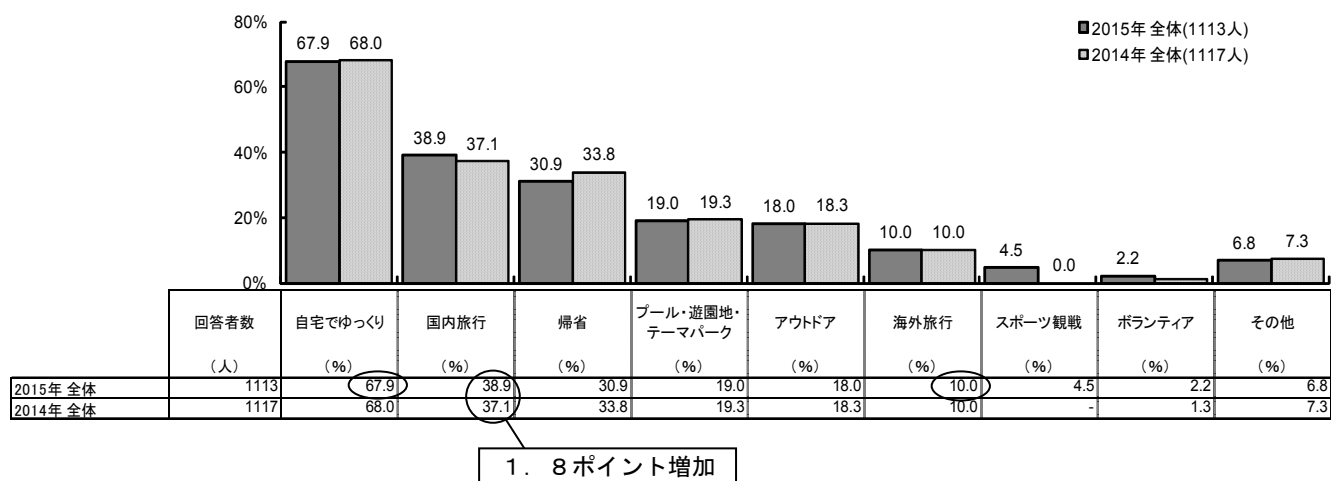
1. 今年の夏休み

(3) 夏休みの過ごし方と理由

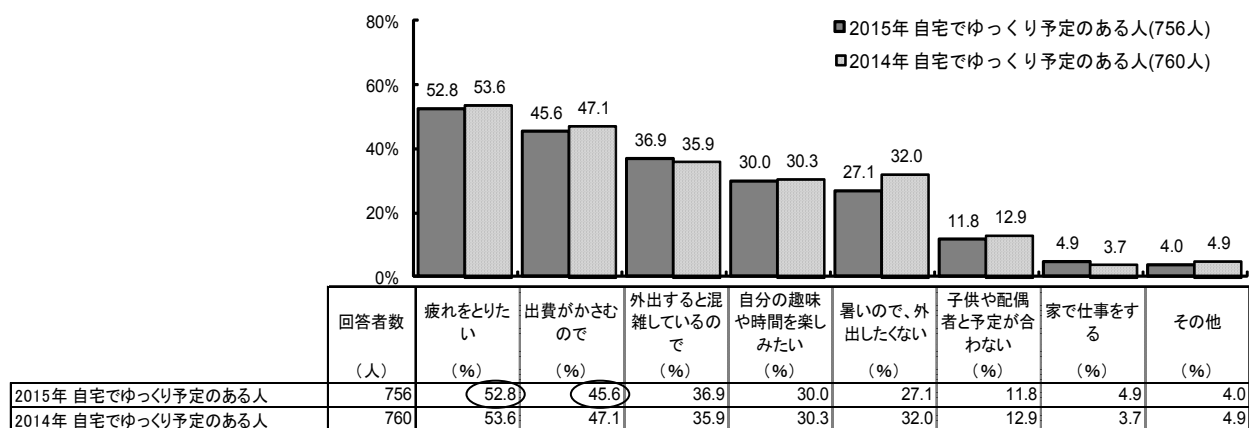
「自宅でゆっくり」が10年連続でトップ！
「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録決定も影響！？「国内旅行」も人気！

- 夏休みの過ごし方について聞いてみたところ、トップは「自宅でゆっくり」(67.9%)、2位が「国内旅行」(38.9%)、3位が「帰省」(30.9%)となりました。
- 「自宅でゆっくり」する理由のトップは昨年同様、過半数の人が「疲れをとりたい」(52.8%)、2位は「出費がかさむので」(45.6%)でした。
- 「国内旅行」は、昨年より1.8ポイント増加し、2位となりました。「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録決定や北陸新幹線の開通などが、国内旅行人気につながっているのでしょうか。
- 円安の影響で減少が予想された「海外旅行」(10.0%)は、昨年並みの結果となりました。円安の影響はあったものの、ボーナスアップなどもあり、大きな影響は与えなかったようです。

Q. 今年の夏休みの過ごし方を教えてください(複数回答)



Q. 夏休みを自宅で過ごす理由を教えてください(複数回答)



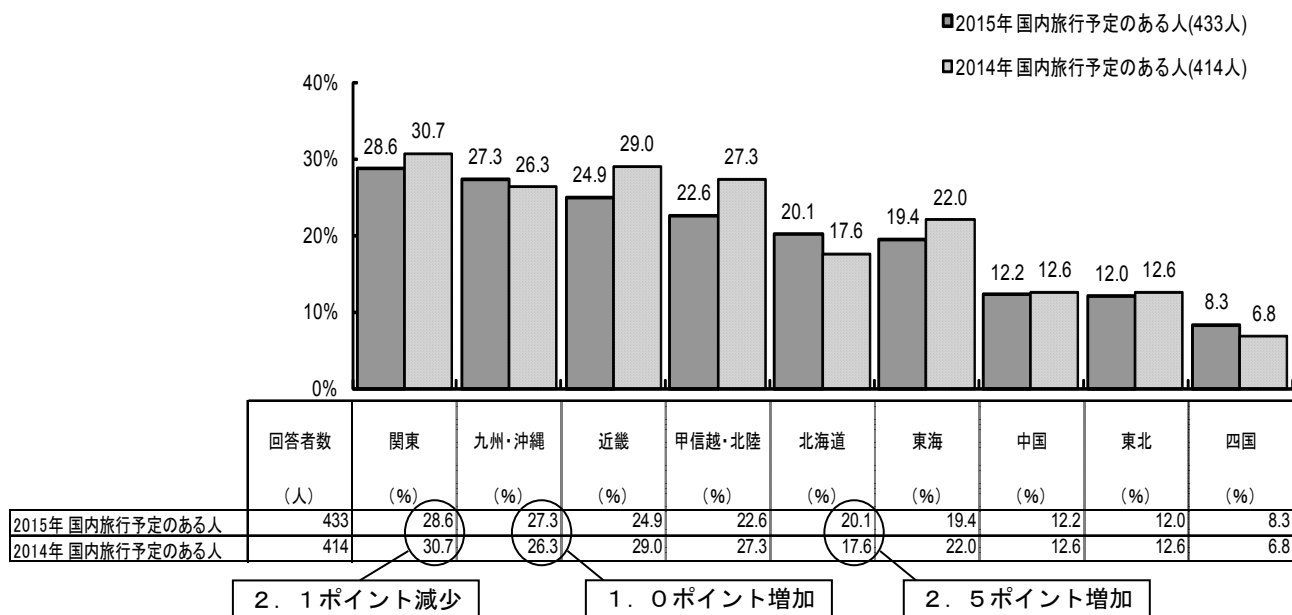
1. 今年の夏休み

(4) 旅行の行き先

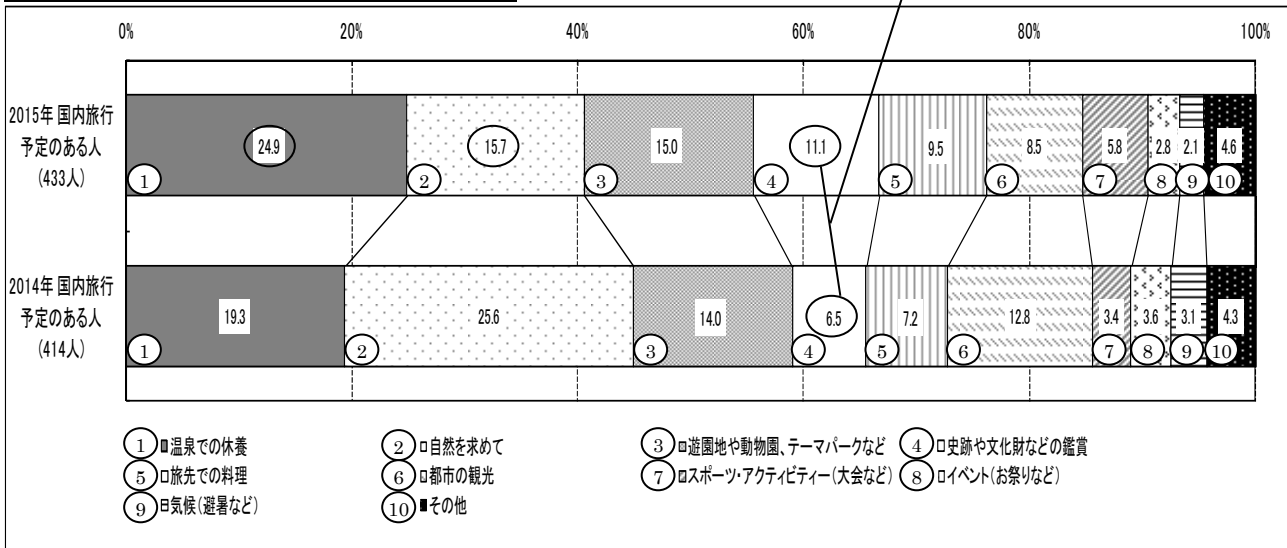
**心も体もリフレッシュ！「国内旅行」は「北海道」「九州・沖縄」などが人気！
「海外旅行」は「オセアニア」が人気急上昇！**

- 夏休みの過ごし方で「国内旅行」・「海外旅行」と回答した人に行き先を聞いてみました。
- 「国内旅行」の行き先は、昨年に引き続き「関東地方」（28.6%）がトップであるものの、昨年から2.1ポイント減少しました。一方、2位の「九州・沖縄地方」（27.3%）は、昨年から1.0ポイント増加しました。「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録決定の影響もあるのかもしれませんが、また、5位の「北海道」（20.1%）は、昨年から2.5ポイント増加しました。
- 国内旅行の目的について聞いてみたところ、トップが「温泉での休養」（24.9%）、2位が「自然を求めて」（15.7%）となりました。都会を離れ自然に触れたり、温泉でゆっくりするのが、今年のトレンドと言えそうです。また、「史跡や文化財などの鑑賞」（11.1%）は、昨年から4.6ポイント増加しており、目的別に見ても、「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録決定の影響をみてとれそうです。
- 「海外旅行」では、昨年に引き続き「アジア」（45.0%）がトップであるものの、昨年より19.3ポイント減少しました。次いで「ヨーロッパ」（25.2%）、3位に「北アメリカ」（14.4%）となりました。4位は家族連れに人気の「オセアニア」（13.5%）が、昨年より9.9ポイント増加しました。海外旅行の行き先は分散化傾向にあるようです。

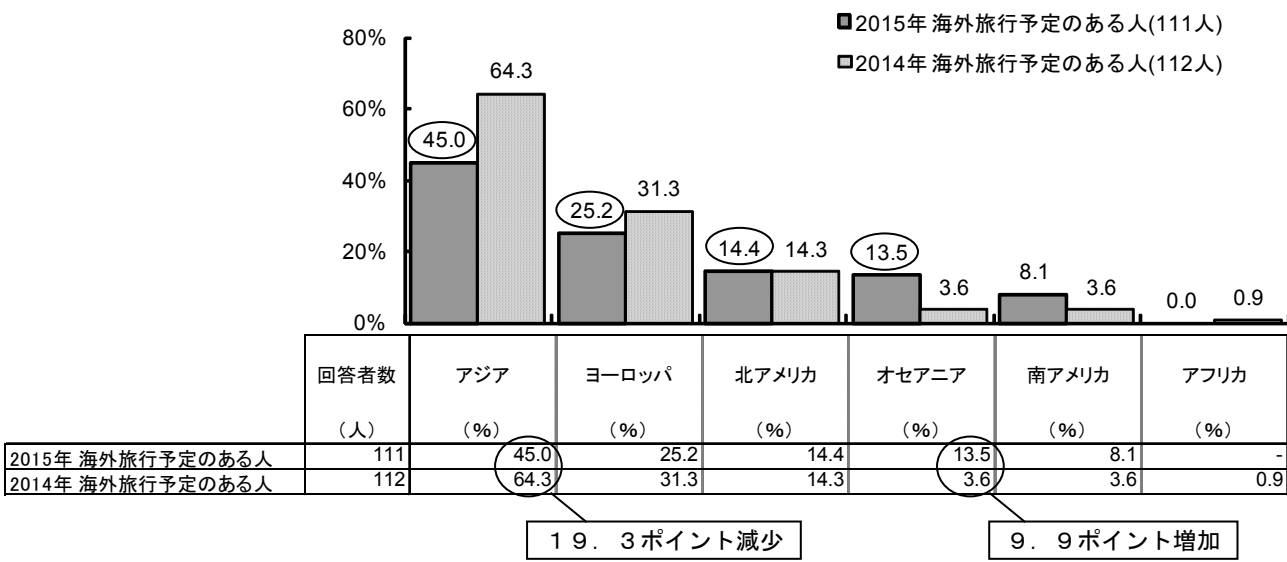
Q. 国内旅行はどの地域に行きますか（複数回答）



Q. 国内旅行の主な目的は何ですか



Q. 海外旅行はどの地域に行きますか (複数回答)

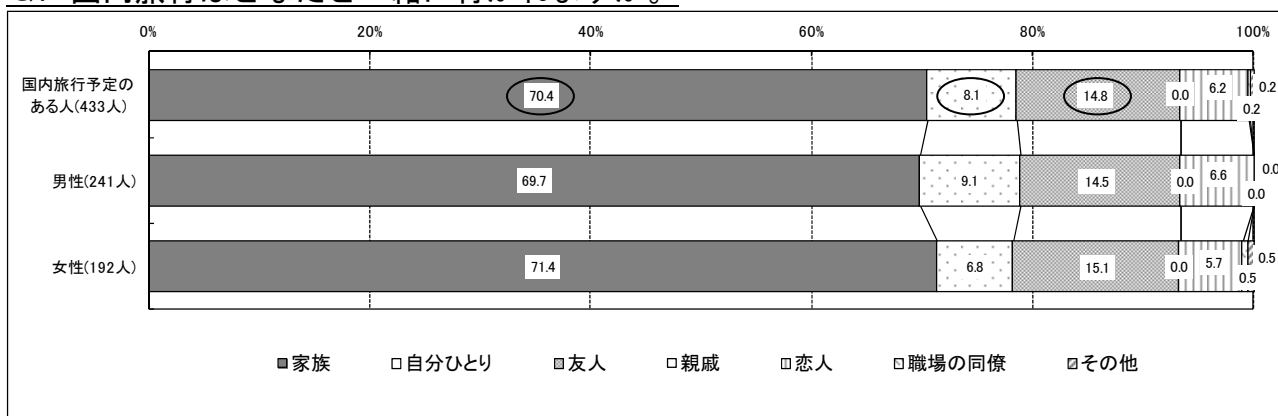


1. 今年の夏休み
 (5) 旅行の同伴者

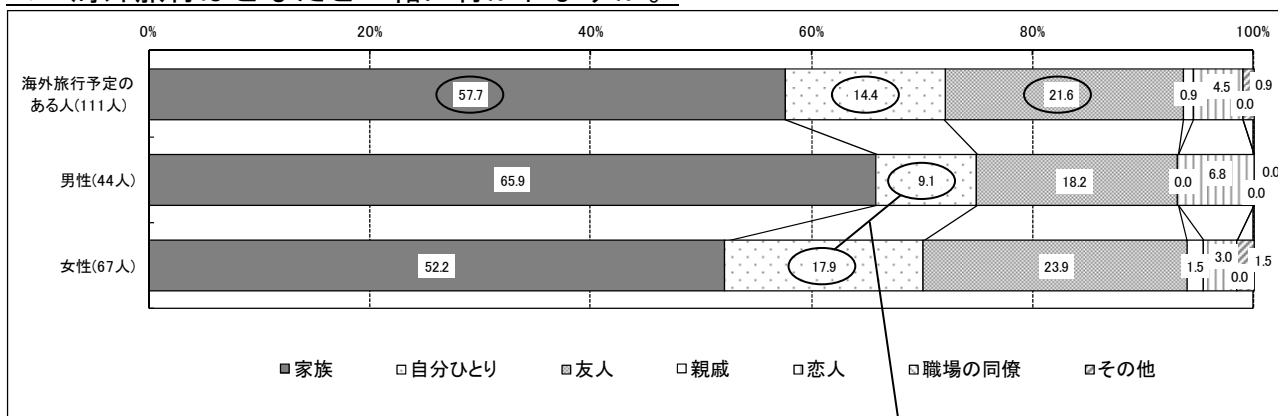
**アグレッシブに行動する女性が増加！？
 海外旅行に行く女性の「約5人に1人」が「おひとりさま」で！**

- ・ 旅行の同伴者について聞いてみました。
- ・ 国内旅行の同伴者1位は、「家族」(70.4%)、2位は「友人」(14.8%)、3位は「自分ひとり」(8.1%)となり、家族旅行は夏の定番行事のようです。
- ・ 海外旅行については、1位は、「家族」(57.7%)、2位は「友人」(21.6%)、3位は「自分ひとり」(14.4%)となり、一人旅の占率は国内旅行より高くなっています。
- ・ 男女別では、「自分ひとり」で海外旅行に行く方の割合は、「女性」(17.9%)、「男性」(9.1%)となり「女性」が「男性」を上回っています。海外旅行に行く女性の「約5人に1人」が「自分ひとり」であり、ビジネスにおいて女性の活躍が進むなか、プライベートにおいてもアグレッシブに行動する女性が多いようです。

Q. 国内旅行はどなたと一緒に行かれますか。



Q. 海外旅行はどなたと一緒に行かれますか。



女性が男性を上回る！

2. 帰省の交通手段と費用

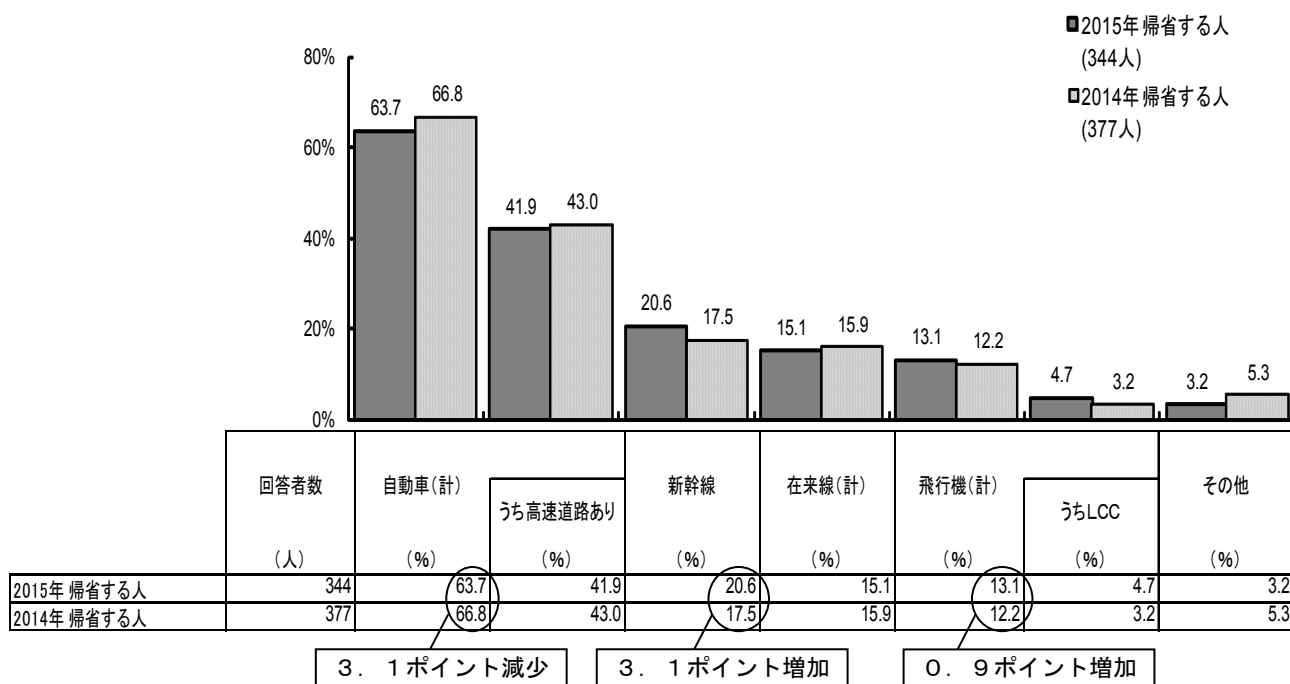
(1) 帰省の交通手段

北陸新幹線開通の影響！？ 「新幹線」利用者が増加！「自動車」利用者は減少！

- ・ 帰省する方に、帰省手段について聞いてみました。
- ・ 「自動車」(63.7%)は昨年より3.1ポイント減少し、「新幹線」(20.6%)は昨年より3.1ポイント増加となりました。北陸新幹線の開通により「新幹線」の利用者が増加したのかもかもしれません。
- ・ 「飛行機」(13.1%)は昨年より0.9ポイント増加しました。また、帰省に「飛行機」を利用する人のうち、LCC*を利用する人は、35.6%と、昨年より9.5ポイント増加しました。LCCの利用が浸透し、帰省時に利用する人が増加したようです。

※ローコストキャリア（格安航空会社）の略

Q. 帰省手段として、何を使いますか（複数回答）



<参考> 飛行機利用者の内訳（複数回答）

	飛行機 (除くLCC(格安航空会社)) (%)	飛行機 (LCC(格安航空会社)) (%)
2015年飛行機利用者	75.6	35.6
2014年飛行機利用者	80.4	26.1

**飛行機利用者のうちLCC利用者は35.6%、
昨年から9.5ポイント増加**

2. 帰省の交通手段と費用

(2) 帰省に使うお金

ガソリン価格の値下がりが影響！？
帰省交通費は減少！おみやげ代は6年ぶりの増加！

- ・ 帰省の際に使う交通費とおみやげ代を聞いてみました。
- ・ 交通費は「29,195円」と昨年より「548円」減少となりました。特に「自動車」利用者の交通費は、「17,114円」と、「1,922円」減少しており、ガソリン価格の値下がりも影響しているのかもしれませんが。
- ・ おみやげ代は「9,535円」（450円増）となり、6年ぶりに増加しました。交通費が節約できた分をおみやげ代に上乘せしているとも言えますが、ここでもボーナスアップの影響が大きいのではないのでしょうか。

Q. 帰省費用はいくらですか（交通費+おみやげ代）

(円)

	平均交通費		平均おみやげ代		平均帰省費用	
		前年差		前年差		前年差
全体	29,195	△548	9,535	450	38,730	△98
未婚計	25,298	2,495	8,632	1,801	33,930	4,296
既婚計	29,969	△1,384	9,714	106	39,683	△1,278

<参考> 自動車利用者の交通費

(円)

	2015年	2014年
自動車利用者	17,114	19,036

「1,922円」減少

<参考> 帰省費用の過去の推移

6年ぶりの増加

(円)

	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年
平均交通費	29,195	29,743	29,910	28,508	27,384	26,352	29,286
平均おみやげ代	9,535	9,085	9,350	9,487	10,007	10,071	10,211
平均帰省費用	38,730	38,828	39,261	37,995	37,391	36,423	39,497

【番外編】

「夏」でイメージする有名人とその理由

(1) 「夏」でイメージする男性有名人

「前田亘輝」さん (TUBE) が1位、「桑田佳祐」さん (サザンオールスターズ) が2位！
定番の2人に次いで、「松岡修造」さんがTOP3入り！

- ・ 「夏」でイメージする男性有名人を聞いてみました。
- ・ 「前田亘輝」さん (TUBE) (39.4%) が1位、「桑田佳祐」さん (サザンオールスターズ) (28.1%) が2位で、2人あわせて約7割と圧倒的な結果となりました。また、2015年上半期CM起用社数ランキング1位^(※)となった「松岡修造」さん (3.4%) がTOP3入りしました。
- ・ 理由を聞いたところ、「前田亘輝」さんや「桑田佳祐」さんは歌から連想された人が大半でした。3位の「松岡修造」さんは「熱い人だから」「汗をかいている姿が浮かぶから」といったイメージを持っている人が多いようです。

(※) ニホンモニター調べ

Q. 夏といえば思い浮かぶ男性有名人は誰ですか (敬称略)

順位	名前	回答者数(人)	占率(%)
1	前田亘輝(TUBE)	438	39.4
2	桑田佳祐(サザンオールスターズ)	313	28.1
3	松岡修造	38	3.4
4	松崎しげる	35	3.1
5	加山雄三	34	3.1
6	稲葉浩志(B'z)	29	2.6
7	北島康介	23	2.1
8	反町隆史	21	1.9
9	福山雅治	19	1.7
10	木村拓哉(SMAP)	14	1.3

<参考> その有名人を選んだ理由を教えてください (敬称略)

前田亘輝 (TUBE)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の曲を歌ってる印象が強い ・夏になるといろんな所で曲が流れているので
桑田佳祐 (サザンオールスターズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の歌のイメージが強いから ・海が似合うから
松岡修造	<ul style="list-style-type: none"> ・熱い男だから ・情熱に燃えていて、夏がぴったりな人だから
松崎しげる	<ul style="list-style-type: none"> ・色黒で日焼けしているイメージから ・活動的なイメージのある人
加山雄三	<ul style="list-style-type: none"> ・海の男のイメージだから ・クルーザーが似合うから

【番外編】

「夏」でイメージする有名人とその理由

(2)「夏」でイメージする女性有名人

1位は元プロビーチバレー選手「浅尾美和」さん、
2位は「大黒摩季」さん！3位には「すみれ」さんがランクイン！

- ・ 「夏」でイメージする女性有名人を聞いてみました。
- ・ 元プロビーチバレー選手の「浅尾美和」さん（13.7%）が1位となりました。「ビーチの妖精」と呼ばれた浅尾さんを思い浮かべた方が多いようです。2位は歌手の「大黒摩季」さん（10.9%）、3位はモデルの「すみれ」さん（6.0%）がランクインしました。
- ・ 理由を聞いたところ、「浅尾美和」さんは「健康的な水着のイメージ」、「ビーチバレーのイメージが強いから」といった声が大半でした。「大黒摩季」さんは男性有名人と同様、歌から連想された人が多く、音楽で夏を感じる人が多いのではないのでしょうか。

Q. 夏といえば思い浮かぶ女性有名人は誰ですか（敬称略）

順位	名前	回答者数(人)	占率(%)
1	浅尾美和	152	13.7
2	大黒摩季	121	10.9
3	すみれ	67	6.0
4	ベッキー	63	5.7
5	長谷川潤	59	5.3
6	安室奈美恵	53	4.8
7	長澤まさみ	52	4.7
8	ローラ	29	2.6
9	新垣結衣	28	2.5
10	百田夏菜子(ももいろクローバーZ)	26	2.3

<参考> その有名人を選んだ理由を教えてください（敬称略）

浅尾美和	・健康的な水着のイメージがある ・ビーチバレーのイメージ
大黒摩季	・歌のイメージが強い ・夏のステージが似合うから
すみれ	・ハワイ育ちで夏のイメージがある ・健康的だから
ベッキー	・元気で明るく太陽のようだから ・明るいイメージだから
長谷川潤	・健康的な肌の色が夏っぽい ・ハワイのイメージだから